

やまなし 交通安全情報

163号

財団法人 山梨県交通安全協会
財団法人 山梨県交通安全協会各支所

発行所
山梨県交通安全活動推進センター
TEL 055-280-5550
〒400-0202 南アルプス市下高砂847
(ホームページ)
<http://www.yin.or.jp/user/ankyoku/>

甲府交通安全協会
韮崎交通安全協会
南部交通安全協会
富士吉田交通安全協会

南甲府交通安全協会
北社交通安全協会
笛吹交通安全協会
大月交通安全協会

南アルプス交通安全協会
諏沢交通安全協会
日下部交通安全協会
上野原交通安全協会

自動車安全運転センター山梨県事務所
社団法人・山梨県バス協会
山梨県二輪車安全普及協会
中日本高速道路株式会社八王子支社

社団法人・山梨県トラック協会
社団法人・山梨県自動車整備振興会
山梨県自転車軽自動車商協同組合

山梨県タクシー協会
山梨県軽自動車協会
社団法人・山梨県建設業協会

CONTENTS	2非常事態	6安協会員への支援
		高齢者の交通事故！	7山梨県交通安全推進
	3交通安全功労者を表彰		県民大会
	4 5各地区安協の活動	8協賛団体の交通安全情報

春の全国交通安全運動

4月6日から15日

運転は 人に社会に 思いやり



4月10日(木)は 交通事故死ゼロ を目指す日

交通死亡事故は記録に残る昭和43年以降、毎日発生しています。
一人ひとりが交通ルールを守り、交通マナーを実践し、交通事故のない安全で安心な社会を築きましょう。

甲府安協石田支部、石田地区自治会連合会、石田地区老人クラブ連合会などが開き、約150人が参加した高齢者自転車安全教室。甲府市上石田三丁目の南西第一公園

運動の基本は「子どもと高齢者の交通事故防止」。①すべての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底②自転車の安全利用の推進③飲酒運転の根絶。三点を重点として全国一斉に運動を展開、県内でも十二の地区安協、各警察署などが呼びかけ、各地域で「子どもと高齢者の交通事故防止」に向け、啓発活動を展開します。

春の全国交通安全運動が四月六日(日)から十五日(火)までの十日間実施されます。県内では山梨県交通安全対策本部と山梨県交通対策推進協議会が主催して展開されます。
運動のスローガンは「運転は人に社会に思いやり」。新入学児童に交通ルールの理解を深めてもらい、交通マナーの習慣づけを徹底するとともに、高齢者の交通事故防止も積極的に推進します。

平成20年
交通安全
スローガン

広げよう どうぞの気持ちと 車間距離 歩行者を 気づかひやさしく 踏むペダル 点めつだ 一度止まって 次の青

非常事態 高齢者の交通事故!

増加の一途、死者半数がお年寄り



県内の交通事故は、発生件数、死者数、負傷者数とも四年連続して減少いたしました。中でも、死者数につきましては、五十二人で、昭和三十三年以降最少となりました。しかしながら、全死者数の半数は、高齢者(六十以上)で占められること

に、飲酒運転や自転車乗車中の死亡事故が増加するなど、交通事故情勢は依然として厳しいものがあります。

高齢者の交通事故が増加

高齢者の交通事故は、年々増加の一途をたどっています。平成十九年は千六百三十二件発生し、十年前の一・七倍に増加しています。世はまさに、超高齢社会を迎え、今後も高齢者の交通事故が懸念されています。ちなみに県内の高齢化率(人口に占める高齢者の割合)は二十二・四パーセントとなり、全国に比べ約二年早く高齢化が進んでいるといわれています。

こうした中、本年二月末までの高齢死者数は六人であり、このうち三件は加害者となる死亡事故でありました。高齢者は、今まで「交通弱者」として被害者の立場で捉えて

山梨県警察交通部から

密な連携を図りながら①子どもと高齢者の交通事故抑止②飲酒運転の根絶③自転車の安全利用の促進④全席シートベルトの着用

安全・安心を実感できる交通社会を目指して

県警交通部長 望月 政明



安全協会のはじめとした関係

機関・団体、

自治体等による

各種交通安全

全施策の推進、

更には、

ります。

このため、県警察では、交通死亡事故抑止対策の推進

を重点目標の一つに掲げ、交

通安全協会をはじめ、自治体、

関係機関・団体の皆様方と緊

密な連携を図りながら①子どもと高齢者の交通事故抑止②飲酒運転の根絶③自転車の安全利用の促進④全席シートベ

ルットの着用の徹底の四点を

重点に「安全・安心が実感で

きる交通社会の実現のため、

各種対策を強力に推進してお

ります。

我々の身の回りで発生する

県民一人ひとりが交通安全

意識を高め、他人を思いやる

交通安全マナーを実践し「安

全・安心を実感できる交通社

会」を実現していくことがあ

りません。

自転車の通行等に関するルールが改正されました

今年6月19日までに施行

①普通自転車の歩道通行に関する規定

- 歩道通行ができるのは、
 - ①道路標識等で指定された場合
 - ②運転者が児童、幼児等の場合
 - ③車道又は交通の状況からみてやむを得ない場合

※ただし、警察官や交通巡視員が、歩行者の安全を確保するために必要があると認めて指示したときは、歩道を自転車に乗って通行してはいけません。
- 歩行者も「普通自転車通行指定部分」をできるだけ避けて通行する努力義務

②乗車用ヘルメットに関する規定

児童・幼児(13歳未満の者)を保護する責任のある者は、児童・幼児を自転車に乗車させるときは、乗車用ヘルメットをかぶせるよう努めなければなりません。



- 能の変化を自覚することが何よりも大切なことです。
- 高齢者の交通事故を防ぐために、高齢者は、次のことを実践してください。
- ①少し速回りでも信号機や横断歩道を利用する。
- ②左右の安全をよく確認する。
- ③明るい色の服装を着用し、夜間は反射材を付ける。
- ④交差点では信号の確認や一時停止をしっかりとる。
- ドライバーの方は、次の点に注意してください。
- ①車の進行方向に対し、右から左への横断者に注意すること。
- ②夜間は、ハイビームライトを有効活用して安全運転に努める。
- ③高齢者を見かけたら、減速・停止して安全に道路を横断させる。
- ご家族、地域の皆様は、高齢者に次のような注意をしてあげてください。
- ①高齢者の交通事故が増加しているから注意すること。
- ②自宅付近の道路を横断するとき気をつけること。
- ③健康状態に注意して、体調の悪いときは運転を自粛すること。

やさしい心遣いで高齢者の安全を守りましょう!

自動車や原付自転車には必ず自賠責保険と任意の自動車保険をつけましょう

損害保険代理店
株式会社 **たいよう共済山梨支店**

甲府市丸の内二丁目16-1
富士急ビル6階
TEL055-228-0691

緑十字金章に河口、功刀両氏

東京で交通安全国民運動中央大会

県内から7人5団体表彰



交通安全国民運動中央大会に出席した山梨県の受賞者ら。東京・日比谷公会堂前



平成19年度交通安全功労者等表彰式。南アルプス市・桃源文化会館

第四十八回交通安全国民運動中央大会が一月十七・十八の二日にわたり東京で開催されました。

大会は、国民一人ひとりが交通道徳を高め、交通ルールを正しく守って交通事故を防止しようという目的で毎年開かれていたもので、初日はグランドアーク半蔵門で交通安全分科集会が開かれ、基調講演のあと交通安全対策について、地域・家庭部会、交通安全教育部会、企業部会の三

部会に分かれ、それぞれの立場で意見発表や討論などを行いました。

二日目は、日比谷公会堂を会場に、常陸宮・同妃殿下のご臨席を仰ぎ、国家公安委員会委員長(代理)、警察庁長官のほか全国から多数の関係者が出席する中で、交通安全功労者表彰並びに受賞配偶者に対する感謝状贈呈、優良団体等表彰や交通安全年間アワード表彰、交通安全作文最優秀者の表彰が行われ最後に大会宣言を採択しました。

本県からは七人五団体が表彰を受け五人のご夫人が感謝状をいただきました。本年は、緑十字金章優良運動者表彰で功刀長夫さん、同夫人仁美さんが四十七都道府県受賞者を代表して表彰状と感謝状を受け取りました。本県の受賞者(敬称略)は次のとおりです。

山梨県警察・山梨県交通安全協会は二月二十一日、南アルプス市の桃源文化会館で、平成十九年度交通安全功労者等の表彰式を行いました。

表彰式では、交通事故防止に長年功績のあった、交通安全功労者の皆さんが表彰の対象となり、関東管区警察局長・関東交通安全協会連合会長連名表彰の二団体・一事業所・十五名と全日本交通安全協会会長表彰の交通安全功労者二十七名・優良運動者五十三名・優良安全運転管理者七人の表彰の伝達がされ、県警察本部長・県交通安全協会長連名表彰四協会、十一団体、

二百三十名に、県交通安全協会会長表彰で死亡事故防止に貢献した三安協、積極的な交通安全活動をされた九女性部、九支部・優良職員一名に表彰状・感謝状と記念品が授与されました。受賞団体と受賞者(敬称略)は次の人たちです。

【関東管区警察局長・関東交通安全協会連合会長連名表彰】
 △交通安全功労者 北新交通少年団(甲府) 学校法人月江寺学園 月江寺幼稚園(富士吉田)
 △交通安全優良事業所 山梨通運株式会社(県トラク)
 △優良運動者 故今橋昌美(甲府) 伊東義巳(南アルプス) 雨宮繁(韮崎) 宮坂清(北杜) 加藤淑子(諏訪)

【全日本交通安全協会会長表彰】
 △交通安全功労者 石原源彦、中村安男、山本政喜、長沼輝子、遠藤寿子(甲府) 塚田敏、坂野ふじ子、下條邦仁、田中則子(南甲府) 名取弘春、有野正男、望月光長、沢登孝司、齊藤綾子(南アルプス) 雨宮良文、望月由勝(韮崎) 清水秀敏、三井一公、内田安雄(北杜) 初鹿三子、望月欣也、望月忠子、内田茂樹、小林森雄、太田初男(諏訪) 佐野研二、石部龍章、小泉則夫(南都) 田辺嘉盛、木曾川敏江(日下部) 渡辺正徳、駒井守夫、渡辺光彦(富士吉田) 佐藤剛直、小林隆(大月) 岡田元衛、井上喜高(上野原)

【優良安全運転管理者】 株式会社 社関電工山梨支店・宮崎昇、株式会社 社関本鉄工・櫻本進、株式会社 平井工務社・平井剛、中央舗道建設株式会社・市川秋雄、田辺建設株式会社・雨宮利明、有限会社渡辺自動車・渡辺正幸、ジャパンクラシックス株式会社・河内達久

△優良運動者 秋山旭、長田章語、三井ツヤ子、赤坂正示、日向春己(甲府) 乙黒修一、松本美、中込美智代、渡辺修二(南甲府) 望月たまみ、奥平真由美、森本長寿、青木多門(南アルプス) 水原源太郎、小澤真一(中込春重、長田英一(諏訪)) 浅川福門、千野知美、篠原吉文(北杜) 依田三義、依田秀穂、相川三三夫(諏訪) 深沢福雄、若杉剛、佐野深(南都) 米山一男、若杉剛、内田明美(諏吹) 松永和夫、窪田政利、新田是宣、高野淳子(日下部) 大森保廣、大森真、渡辺伊佐男、勝俣右司、流石伴子、林元治、天野三代治(富士吉田) 小池等、草野美治(大月) 細川庸夫、水越徳(上野原) 大竹次男、山中親一、清水照信(県バス) 森善昭(県タクシ) 平井征夫(身障者会) 雨宮文彦、内田稔、武藤貞二、服部茂(県二推)

△山梨県警察本部長・山梨県交通安全協会会長連名表彰▽優良交通安全協会優秀者 笛吹交通安全協会、富士吉田交通安全協会▽同優良賞 甲府交通安全協会、南都交通安全協会

△交通安全功労者及び団体▽交通安全功労者 長田憲一(甲府) 池田美智子(上野原) 石原愛子、大神田麗子(母の会)

△交通安全功労者 有限会社 ソートマン山梨、株式会社竹屋あさかわ(南甲府) (株) 関電工山梨支店 櫛形営業所(南アルプス) 株式会社 内藤、日産プリンス山梨販売株式会社(韮崎) 峽南衛生組合(南都) 株式会社上組(諏吹) オシノ電器株式会社、山梨県立富士北穂高等学校、鳴沢村立鳴沢保育所(富士吉田) 水越計器(株) 山梨工場(大月)

△交通安全功労者 雨宮正英、黒江博、千野幸子、佐野誠二、渋谷幹子、松本崇紀、末木千並、小澤弘子、伊藤正子、清水博光(甲府) 石川博、小林照美、大杉二郎、杉浦嘉日、川崎浩、湯沢基(南アルプス) 村松孝、佐藤道平、向山敬一、相川文雄、小池光三、田中仁、石原伍郎、井上廣昭(諏訪) 中山尚武、清水さゆり、矢嶋志朗、小野光一、中澤朝征(北杜) 大森一仁、鶴田正枝、杉野忠良、山本嘉人、渡井要(諏訪) 長谷川常夫、遠藤守、樋口彰一、加藤裕也(南都) 田中英光、鈴木貞夫(諏吹) 風間昭治、河野俊彦、土屋寿人、北井敏広、早川清広(日下部) 坂本静男、大森達美、天野巻夫、宮下みづ江、天野幸三、羽田稔、三浦司郎、堀内文仁、古屋正義(富士吉田) 天野清治、鈴木幸恵、岩村義造、渡辺旬一、甘利康幸、天野俊矩(大月) 清水恭、米山明男、大庭忠政(上野原)

△優良運動者 橋田笑子、保阪弥生、加々美富明、西山博昭、中山利治、八木久、大橋貴一、穂坂昭徳、武田澄雄、小野弘明(甲府) 小池善仁(南甲府) 近藤辰秋、手塚文子、芦沢章貴、名取さな江、高橋昭一、飯窪巧、保坂久直、大杉重彦、柴田里子、森本邦子、伊井貴美(南アルプス) 板屋政秋、加賀爪益美、角田貞次、長坂守、永島和義、小林貞雄、深沢栄一郎、樋口等、小林信夫、中山清次、小泉安雄、標さか江、三井正孝(諏訪) 中嶋泉、清水一明、清水颯、高崎信、白倉民雄、清水一枝、岡村哲雄、金子道夫、坂本よしみ、小池けい子、植松明美、木下芳明、武藤章、望月伸弘、仲澤富雄(北杜) 大森明仁、高橋裕之、山本晴代、麻野喜久美、望月久美子、保坂育子、雨宮和久、望月昭宏、小林みどり、秋山静男、伊東博、一ノ瀬幸人、依和子(講習部)

△女性部 甲府交通安全協会石田支部女性部、南アルプス交通安全協会女性部、南アルプス交通安全協会女性部、北杜交通安全協会女性部、笛吹交通安全協会春日居支部女性部、笛吹交通安全協会御坂支部女性部、日下部交通安全協会女性部、大月交通安全協会女性部、上野原交通安全協会女性部

○支部 甲府交通安全協会石田支部、甲府交通安全協会城東支部、南甲府交通安全協会昭和三支部、藤吹交通安全協会藤吹支部、南都交通安全協会増穂支部、南都交通安全協会門内支部、笛吹交通安全協会石湖支部、富士吉田交通安全協会山中湖支部、大月交通安全協会開地支部

▽交通安全協会優良職員 網倉和子(講習部)

山口 森子氏

育藤 忠雄氏

功刀 長夫氏

篠原 節氏

岩永 盛明氏

勝俣 藤久氏

古屋 壽満氏

評議員・諏訪安協副会長
 △優良運動者 功刀長夫(県安協理事) 南アルプス安協会長
 △緑十字金章
 △交通安全功労者 齊藤忠雄(県安協評議員) 富士吉田安協副会長 岩永盛明(県安協評議員) 甲府安協副会長
 △優良運動者 篠原節(県安協評議員) 南甲府安協副会長 古屋壽満(県安協評議員) 笛吹安協副会長
 △優良安全運転管理者 勝俣藤久(都留安管会長)
 △優良団体
 △優良運動者 ニスカ株式会社▽優良学校 身延町立大河内小学校▽優良交通安全協会 笛吹交通安全協会▽優良事業所 株式会社 三和商会▽優良安全運転管理者協議会 南甲府安全運転管理者協議会
 △感謝状受賞配偶者 功刀仁美、斉藤カツ子、岩永昌子、篠原恵子、古屋貴美子

19年度交通安全功労者等表彰

優秀安協に笛吹、富士吉田

山梨県警察本部長・山梨県交通安全協会会長連名表彰▽優良交通安全協会優秀者 笛吹交通安全協会、富士吉田交通安全協会▽同優良賞 甲府交通安全協会、南都交通安全協会

△交通安全功労者及び団体▽交通安全功労者 長田憲一(甲府) 池田美智子(上野原) 石原愛子、大神田麗子(母の会)

△交通安全功労者 有限会社 ソートマン山梨、株式会社竹屋あさかわ(南甲府) (株) 関電工山梨支店 櫛形営業所(南アルプス) 株式会社 内藤、日産プリンス山梨販売株式会社(韮崎) 峽南衛生組合(南都) 株式会社上組(諏吹) オシノ電器株式会社、山梨県立富士北穂高等学校、鳴沢村立鳴沢保育所(富士吉田) 水越計器(株) 山梨工場(大月)

△交通安全功労者 雨宮正英、黒江博、千野幸子、佐野誠二、渋谷幹子、松本崇紀、末木千並、小澤弘子、伊藤正子、清水博光(甲府) 石川博、小林照美、大杉二郎、杉浦嘉日、川崎浩、湯沢基(南アルプス) 村松孝、佐藤道平、向山敬一、相川文雄、小池光三、田中仁、石原伍郎、井上廣昭(諏訪) 中山尚武、清水さゆり、矢嶋志朗、小野光一、中澤朝征(北杜) 大森一仁、鶴田正枝、杉野忠良、山本嘉人、渡井要(諏訪) 長谷川常夫、遠藤守、樋口彰一、加藤裕也(南都) 田中英光、鈴木貞夫(諏吹) 風間昭治、河野俊彦、土屋寿人、北井敏広、早川清広(日下部) 坂本静男、大森達美、天野巻夫、宮下みづ江、天野幸三、羽田稔、三浦司郎、堀内文仁、古屋正義(富士吉田) 天野清治、鈴木幸恵、岩村義造、渡辺旬一、甘利康幸、天野俊矩(大月) 清水恭、米山明男、大庭忠政(上野原)

南甲府



ハンドルキーパー推進へアイデア品

南甲府安協は昨年未の事故防止県民運動に合わせて山梨県食品衛生協会へ「ハンドルキーパー運動推進中」と書かれた「つまようじ入れ付きプレート」を配布しました。

プレートは高さ22号のアクリル製でつまようじ入れがついている。卓上タイプで各店のカウンターやテーブルなどに置いてもらう。「ぶじカエル」のイラストも描かれている。運動期間中には道路や公園などに「ハンドルキーパー運動」実施中の旗500本も立てられました。



大月



交通安全訴えビーズ啓発品作製

大月安協女性部、同安協は交通安全啓発用に鈴がついたビーズマスコットを作製しました。「交通安全祈願の鈴 私達の手作りです」と書かれたチラシも入った心がこもった品で、今年行われる交通安全キャンペーンなどで配布されます。1月には大月市の三嶋神社で交通安全祈願祭も行われ、今年1年の交通安全を祈りました。また、同安協笹子支部は昨年11月、笹一酒造で行われた「新酒フェア」に合わせてハンドルキーパー運動推進ステッカーなどを配布しました。



南アルプス



25保育所の園児が安全学ぶ

南アルプス安協は「交通事故死ゼロを目指す日」の2月20日、市内の保育所25カ所の年長園児約600人を対象に交通安全教室を実施、各保育所で園児たちが交通安全宣言も行いました。

八田保育所では道路の正しい歩き方や安全な横断方法、信号機の正しい利用方法などを実際に道路へ出て体験学習しました。また年末にはお酒を飲んで(Drink)、車の運転(Drive)、危険(Dangerous)の窓口3D作戦を展開、警察署窓口に訪れる人たちにハンドルキーパー運動啓発グッズを配布。1月には同市小笠原の笠屋神社で交通安全関係団体役員ら100人が交通安全祈願祭を行いました。

上野原



「ゆずりあい」呼びかけ袖配布

上野原安協は昨年未の事故防止県民運動に合わせて、「袖(ゆず)り合うマナーが自慢のうえのはら」の標語を掲げ、長寿の里・桐原で収穫された袖を街頭指導所で配布しました。上野原市役所前には役員ら約20人が集合、ドライバー一人ひとりに袖を贈り、「ゆずり合い」を呼びかけました。1月には上野原市の牛倉神社に役員33人らが集まり、交通安全祈願祭を開きました。



韮崎



街頭指導所で安全運転呼びかけ

韮崎安協は「交通事故死ゼロを目指す日」の2月20日、管内の主要幹線道路などに街頭指導所を開設しました。「シートベルト着用」「交通事故死ゼロを目指す日」「携帯電話運転中禁止」の3種類のプレートを掲げながら啓発品などを配布しました。

昨年未の事故防止県民運動でも韮崎市田町の「道の駅にらさき」前や甲斐市内などで街頭指導を実施、ドライバーらに安全運転を呼びかけました。



甲府



「事故死ゼロ目指す日」呼びかけ

甲府安協は「交通事故死ゼロを目指す日」の2月20日、JR甲府駅北口周辺でキャンペーンを展開、役員や警察署員、周辺各高校の生活指導教諭ら約60人がチラシや啓発品などを配布しました。

参加者は「交通事故死ゼロを目指す日」と書いたプレートを掲げながらチラシとポケットティッシュ各2000点を配りました。チラシは二種類。「事故死ゼロ」とともに自転車通行のルール改正を呼びかけるチラシも配布しました。



笛吹



事故ゼロめざし安全教室や研修会

笛吹安協は2月、笛吹市御坂町の東保育所で、さちかぜ号と合同の交通安全教室を開きました。また、女性部は笛吹市石和町のホテルで研修会も開催、笛吹警察署署長が「交通事故の発生状況と現況について」と題した講話を開き、交通安全啓発活動に向けて交通安全意識の高揚をあらためて図りました。

1月には一宮町の甲斐一宮浅間神社で関係者約85人が出席、交通安全祈願祭も行いました。



地区安協の活動

日下部



事故死ゼロ目指し街頭指導徹底

日下部安協は秋から冬にかけて、高齢者交通安全講話や、「交通事故死ゼロを目指す日」などに合わせた街頭指導を行いました。

「事故死ゼロを目指す日」の2月20日には国道140号沿いの日下部警察署前で街頭指導を実施、反射マスクや携帯マスクなど啓発品を配りました。昨年末には同警察署塩山分庁舎前の市道塩山バイパスで街頭指導を行いました。また、10、11月の2回、甲州市塩山千野の甲州市老人福祉センター・塩寿荘で開かれた敬老会には女性部メンバーが駆けつけ、交通安全を訴えました。



富士吉田



三魂交通神社で一年の安全祈願

富士吉田安協は1月、富士河口湖町内の三魂交通神社で交通安全祈願祭を行いました。安協役員や各交通関係者ら約120人が出席、一年間の安全を祈りました。三魂交通神社は富士吉田安協が管理している神社で、会場では参加者にお守りを配布、船津支部員が「おしるこ」を振る舞い、大好評でした。

2月には富士吉田警察署長、富士吉田安協会長連名表彰式も行い、約90人が出席しました。



北杜



夕方の買い物客に安全訴える

北杜安協は昨年末、交通事故防止県民運動に伴う広報啓発活動を実施しました。役員や警察署員ら約50人が参加。きららシティオギノ長坂店、Jマート長坂店、スーパーやまと長坂店のスーパーマーケット3店で夕方の買い物客に、チラシや反射材500組を配りました。また昨秋には交通安全運動に合わせて高齢者交通安全リーダー用の反射帽子、啓発品などの配布も行いました。



鯉沢



増穂特産「袖」で「ゆずり合い」訴え

鯉沢安協は昨年末の交通事故防止県民運動に合わせて街頭指導所を開設しました。

管内では市川三郷町、増穂町でそれぞれ実施。増穂町では特産の袖（ゆず）を文字で「ゆずり合いで安全運転を！」と声をかけ、袖を配布しながら安全運転を訴えました。安協や交通関係団体役員らが参加、ドライバー一人ひとりに交通安全を呼びかけました。



南部

女性部メンバーが「交通安全」研修

南部安協女性部は「交通事故死ゼロを目指す日」の2月20日、南部警察署で研修会を開き、交通課長を講師に、道交法や交通事情などについてビデオなどを交えながら学びました。また自動車整備士からは車両点検の方法も教えてもらいました。

1月には身延山久遠寺で新年交通安全祈願祭も行い、一年の安全を祈りました。



安協から

大月交通安全協会は、県東部に位置する大月市、都留市、西桂町、道志村の二市一町一村が管轄区域となっています。当協会も昨年四月の県警察の警察署再編に伴い、大月交通安全協会と都留交通安全協会が合併し、新たに大月交通安全協会として発足しました。

合併後は、新大月交通安全協会の活動について住民の理解と協力を得るために、ミニコミ誌や新聞等を利用しての広報や各種の会合等を通じて周知を図り、地域に密着した活動を積極的に展開してきました。

このような道路環境に併せて、鉄道・バス等の公共交通機関も少ないことから、住民の車の保有率も全国・県平均を大きく上回っており、車は日常生活に欠かせない存在で、こうした現状が管内の交通事故の発生に大きく影響しているものと考えております。

昨年(平成十九年中)の大月警察署管内の人身交通事故は、発生三百四十六件(昨年比マイナス三

当協会としては、このような諸状況を踏まえ、警察署、各自治体、各種交通関係機関・団体、と連携し、街頭指導所の開設、交通安全教室の開催、街頭監視等の活動を実施してきました。特に、車社会において交通弱者と言われている高齢者と子どもの事故防止対策に重点を置き、高齢者の事故防止対策としては当協会女性部による「反射材の普及と活用」の指導を

しての通学路での監視活動を実施してきました。

さらに、昨年の道路交通法の改正によるひき逃げや飲酒運転等の罰則の強化、飲酒運転をするおそれのある者に酒類を提供した者や同乗者に対する罰則の新設を受けて、「ハンドルキーパー運動」を周知させるために管内飲食店に対する協力要請や運転者に対する啓発活動を展開し、飲酒運転を「しな

これは、ひとえに警察署、自治体、交通関係団体等のご努力と地域住民一人ひとりのご理解、ご協力によるものであり、感謝申し上げます。

当協会としては、この受賞を機に今後も、より一層、警察署、自治体、交通関係団体等との連携を図り、悲惨な交通事故を一件でも減少させるために、本年度の主要事業として①安協女性部による高齢者宅訪問や高齢者と子どもを対象にした交通安全教室の開催②交通関係団体と連携しての「ハンドルキーパー運動」の推進③各種交通安全運動等の街頭指導・監視活動の実施などを計画し、推進していくこととしております。

交通事故の根絶を目指して

大月交通安全協会会長 高部 愛明



管内には国道20号線、国道139号線、国道413号線の三本の主要幹線道路が走っており、年間を通して交通量は多く、特に、春・秋の観光シーズンには増加するという状況にあります。国道に限らず他の道路についても管内の地形から道路が狭路で大型車両がすれ違いが出来ない場所や歩道も未整備の箇所が多いという道路事情を抱えております。

十二件)、死者一人(同マイナス四人)、負傷者四百三十八人(同マイナス六十三人)といずれも減少しております。

交通事故の原因・態様は様々ですが、①前方不注意・動静不注意による追突②交差点における安全不確認による出会い頭の衝突③が全体の約八十パーセントを占めている状況でした。

内容とした高齢者宅を訪問しての交通安全教室の開催、管内自動車教習所の協力を得て高齢ドライバーを対象にした参加・体験型の交通安全教室などを開催してきました。

また、子どもの事故防止対策としては、通学路の安全点検、危険箇所への立看板の設置やポランテアの「安全安心見張隊」と連携

い、させない、許さない」を合言葉に飲酒運転の根絶を推進してきました。

その結果、昨年の死亡事故は前年比マイナス四人と大きく減少させることができ、大月市が昨年九月十七日に、都留市が同十二月二十八日に「交通死亡事故ゼロ五百日」を達成し、警察本部長から感謝状を受賞しております。

交通事故の根絶に向けては、警察、各自治体、交通関係団体及び地域の皆さんと綿密な連携を図り、「地域の安全は、地域で守る」を合言葉に交通事故防止活動に取り組んでまいりたいと考えておりますので、今後とも地域の皆様のご理解、ご支援、ご協力をお願いいたします。

安協会員入会のお願い

山梨県交通安全協会は、免許証の取得・更新時に会費を任意でお願いしております。協力をいただいた方の会費は、皆様の住居地の交通安全協会が悲惨な交通事故を一件でも減らすために、街頭交通安全指導、自転車教室、高齢者安全講習等の各種活動を行っておりますが、こうした活動の経費として活用させていただいております。

交通安全協会会員の皆様への支援

弁護士無料法律相談

会員が交通事故を発生させたか又は交通事故の被害者となった場合、損害賠償等で疑問があったときは当協会の委託弁護士による無料の法律相談が受けられます。

詳しくは、山梨県交通安全協会 (☎055・280・5550) にお問い合わせください。

交通事故見舞金制度

会員が不幸にして交通事故で死亡した場合や後遺症が生じた場合は、20万円を限度とした見舞金を交付しております。

免許証ケース及び交通安全グッズの進呈

免許証の亡失、損傷を防止するため滑り止めのついた免許証ケースを進呈します。

Eメール会員へのサービス

運転免許の更新時期のお知らせや安全運転に役立つ情報を提供します。

「ハンドルキーパー運動」推進中

ハンドルキーパー運動とは?

自動車仲間と飲食店などに行く場合に、お酒を飲まない人(ハンドルキーパー)を決め、その人が、仲間を自宅まで送り届ける運動です。

山梨県交通安全協会では、山梨県飲食業協同組合をはじめとする関係者のご協力を得ながら飲酒運転の根絶を目指して、「ハンドルキーパー運動」を推進しています。



今日のハンドルキーパーは私です!!



2000日間無事故・無違反達成チームを表彰

山梨県では二月十五日、県立文学館講堂において、「セーフティードライブ・チャレンジ2000」の表彰式を行い、横内知事が達成チームの代表五チームに賞状を手渡した。



無事故・無違反達成チームの表彰式
—甲府・県立文学館

高い無事故率
早く優しい地元のための教習
山梨県公安委員会指定

公認 岳麓自動車教習所

富士吉田市新西原5-5-1
☎0555-22-1689
普一、大型一・二、大特
けん引、自二
(合宿施設有)

個人では、三万二千三百三十八人(九十二・一パーセント)の方が、無事故・無違反を達成し、交通事故率や違反率が県内の免許保有者全体の比率より低い結果となり、チーム一丸となつての交通安全意識が、交通事故や交通違反を防止したものと考えられます。

表彰式後に行われた抽選会では、チャレンジ2000推進会議構成団体の提供による総額300万円相当の商品が達成チームの中から300チームに贈呈されました。

平成二十年度「セーフティードライブ・チャレンジ2000」は、四月十五日から参加チームを募集する予定です。大勢の皆様のご参加をお待ちしています。

(山梨県企画部県民生活民生課交通安全担当)

か、多数のチームが参加し達成率も高かった十一企業・三高校・一団体に感謝状を贈呈しました。

十五回目となる本年度は、過去最多の六千九百七十八チーム(三万四千八百九十人)が参加し、六月十五日から十二月三十一日の二百日間、五人一組で無事故・無違反を目指し、四千七百五十三チーム(六十八・一パーセント)が無事故・無違反を達成しました。

山梨県中学生交通安全弁論大会・優秀作品

モラルとは何だろう。この聞き慣れた三文字の言葉の意味を、私はつい最近まで知りませんでした。

モラルとは、道徳心やルール、マナーという意味です。

私の学校には、授業中、突然大声を出す人や、授業に平気で遅れてくるとも身勝手な人がいます。私を含め何人かは、「静かにしてよ。自分一人で授業している訳じゃないんだから」と注意をします。

しかし、その人たちは「うるさいな。別にいいだろう。全く話を聞いてくれません。そしてまた、同じ事を繰り返すのです。私はこれまで、注意をしていたものの、どこか心の奥で「言っても聞いてくれないならもういいや」と、考えていました。皆さんも、

ある日突然、兄のもとへ一本の電話

私のような経験がありません。しかし、ちょっと待ってください。これは、学校生活だから命を落とす人はいませぬが、もし、車が多く通る場所だったら、どうでしょう。せまい歩道を歩くとき、「友だ

ちと話をしたいから」と、道路にはみ出て歩いたらどうなるんですか。学校生活のように、「もういいや」で、済むでしょうか。それで済ませてしまったら、その人は、事故に遭ってしまふかもしれません。もし、それが、あなたの大切な人だったら...



モラルが命を救う

上野原市立蔵中学校 相良 未侑

たでしょう。父の仕事は、安全を守る白バイ隊員として働いています。父の仕事は、事故に直結する悪質で危険な違反や暴走族の取り締まりなど、交通事故防止に欠かせません。

増えている。それが一番の原因なんだ。例えば、横断禁止の場所を平気で渡ったり、信号無視をしたり、自転車や自動車に乗りながら携帯電話をいじったり、周りの人や危険を考えずに行動する人が増えてきているんだよ。もちろん、中学生のみんなにも、歩行者

や自転車に乗る立場として、交通マナーを考えてほしいと思っているんだ。と答えてくれました。それは、他人や周りを考えて行動すること、自分勝手な人を注意してあげる思いやりを持つことなのです。

事故は、私たちの心の油断、モラルの低さから生み出されます。だからこそ、交通事故は、みんながモラルを意識することで、確実に減っていくでしょう。そして、モラルを向上させていくのは、他の誰でもない、私たちのことです。勇気を出して、たった一言、声をかけるだけで、救える命もある、ということを決して忘れないでください。

私は、これからもモラルについて考え、学校でも、道路でも、みんなに声をかけていこうと思います。他のなにもにも代えることのできない、尊い命を救っていくために。

交通安全推進 「宣言」採択も

南アで県民大会

平成二十年交通安全推進県民大会（山梨県・山梨県交通安全推進協議会）が南アルプス市桃源文化会館で開催されました。



約700人が参加して開かれた交通安全推進県民大会 南アルプス市桃源文化会館

交通安全宣言

交通事故をなくすことは、県民すべての心からの願いです。

平成19年中は、県民あげて交通死亡事故抑止対策を進めた結果、交通事故による県内の死者数は、52人と、昭和33年以降最も少なく、発生件数・負傷者数ともに減少することができました。

しかしながら、今なお、年間9000人を越える人達が、交通事故により負傷しています。県民の約100人に1人が交通事故に遭っていることとなります。

なかでも、来る高齢社会を背景に、全死者数の半数を高齢者が占めているなど、交通情勢は依然として予断を許さない状況にあります。

私たちは、生命の尊さと交通事故の悲惨を深く認識し、安全で快適な交通社会をつくるため、関係機関・団体をはじめ道路交通の場に参加するすべての人々と協力し、地域・家庭・学校・職場において、次の対策を強力に推進することを誓います。

1. 高齢者と子どもの交通事故防止
1. 飲酒運転の根絶
1. 自転車の安全利用の推進
1. 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
1. 早めのライト点灯の徹底と反射材使用の推進
1. 運転中の携帯電話等使用等禁止の徹底

以上宣言します。
平成20年2月21日
平成20年交通安全推進県民大会

交通安全推進協議会、山梨県警察本部・山梨県交通安全協会主催の「交通安全宣言」を朗読し、参加者全員により宣言を採択しました。続いて昨年の中学生交通安全弁論大会で、優秀な成績を収めた穂泉貴善君（田富中学校）と相良未侑さん（蔵中学校）による交通安全宣言の発表が行われ、両氏から「感動した」、「素晴らしい」との言葉をいただきました。

山梨県交通安全協会の平成20年度事業計画

高齢者、子どもの交通事故防止 自転車の安全利用も推進

平成十九年中の県内における交通事故の発生状況は、人身事故発生件数六千九百九十二件（前年比九十件減）、死者数五十二人（前年比九人減）、負傷者数九千二百七十五人（前年比百十二人減）であり、特に死者数は昭和三十三年以降最も少なく、また、発生件数・負傷者数ともに四年連続減少させることができました。

子ども自転車大会（全国大会への代表派遣）、高齢者交通安全大会、二輪車安全運転大会（全国大会への代表派遣）等を開催します。

子ども自転車大会（全国大会への代表派遣）、高齢者交通安全大会、二輪車安全運転大会（全国大会への代表派遣）等を開催します。

交通安全推進協議会、山梨県警察本部・山梨県交通安全協会主催の「交通安全宣言」を朗読し、参加者全員により宣言を採択しました。続いて昨年の中学生交通安全弁論大会で、優秀な成績を収めた穂泉貴善君（田富中学校）と相良未侑さん（蔵中学校）による交通安全宣言の発表が行われ、両氏から「感動した」、「素晴らしい」との言葉をいただきました。

山梨中央広告社グループ
YAMARASHI ADVERTISING TRANSPORT CO.
株式会社 山梨広告運送
中央市西新居330-7
TEL.055-274-3822 FAX.055-274-3842
http://www.yamanashi-oriokomi.com

日本交通管理技術協会山梨県支所

安全・安心な自転車にTSマークを

自転車は気軽で身近な交通手段として、子どもから高齢者まで通勤・通学・買い物などに幅広く利用されていますが、自転車による交通事故も多発しています。

平成19年度中、山梨県内で発生した自転車による交通事故は752件で、6人の方が亡くなられ、747人の方がケガをしています。

自転車も自動車と同じ車両で、加害者となった場合は高額な賠償金が必要です。

TSマークは、賠償責任保険と傷害保険の2つがセット(表1)になっているので、もしもの時に安全です。

TSマークはTSマークのある自転車安全整備店で、点検・整備を受けマークを貼り付けてもらおうと、1年間の付帯保険がついています。

表1 付帯保険の補償内容

傷害補償	TSマークが貼付されている自転車に搭乗中の人(同乗者も含まれます)が国内で事故によって、事故の日から180日以内に死亡又は重度後遺障害(1~4級)を被った場合に支払われます。 ○赤色TSマーク 一律100万円 ○青色TSマーク 一律30万円
	上記の事故によって、入院加療15日以上の傷害を被った場合に支払われます。 ○赤色TSマーク 一律10万円 ○青色TSマーク 一律1万円
賠償責任補償	TSマークが貼付されている自転車に搭乗中の人(第三者)に死亡又は重度後遺障害(1~7級)を負わせたことにより、法律上の損害賠償責任を負担した場合に支払われます。 ※対物損害は対象外です。 ○赤色TSマーク 最高限度額 2,000万円 ○青色TSマーク 最高限度額 1,000万円



AMS (山梨県自動車整備振興会)

◇あなたの車は、大丈夫!?

県内の自動車保有台数は、現在73万台を超え、県民生活になくはならない輸送手段となっています。一方、交通事故による死者数は、平成10年の108名を境に平成19年は52名と減少しているものの、飲酒運転による交通事故の他、高齢者の事故も多発しているなど依然厳しいものがあります。

こうした中、自動車の故障や不良による交通事故、交通渋滞や公害の防止を図るため、自動車の確実な安全管理、点検整備の実施が法で定められています。しかし、定期点検実施率は41%と低迷しており、自動車ユーザーが点検整備の重要性を認識されていないのが実情であります。

このことにより、車から発生する有害な排気ガスや騒音を引き起こすばかりでなく、車の整備不良に起因する危険な事故の未然防止が、十分されないまま運転されている危険性があります。

日ごろの点検や法定点検等による必要箇所の整備は、自動車ユーザーに安心と安全を約束します。

点検・整備のことなら国の認証(黄色い看板)を受けた県下860のAMS(アムス)マークの自動車整備工場にお任せ下さい。

高度な技術を持ったプロの整備士が確かな点検整備で安心と安全をお約束します。

地球環境を守り、交通事故防止のため、点検整備を忘れず安全運転を心がけて下さい。

「ママ、整備をしない車検でほんとに大丈夫...?」

「我が家の「車検」は大丈夫よ。車検はAMSマークの整備工場にお願いしてあるからね。」



自動車安全運転センター

SDカードをお持ちですか?

- 自動車安全運転センターでは、無事故・無違反証明書又は運転記録証明書を申請された方で、1年以上無事故・無違反の方にSD(Safe Driver)カードを差し上げています。
- SDカードには、無事故・無違反の年数により次の4種類があります。



ご存知ですか? SDカードの特典

- SDカードをお持ちの方は、金融機関での「マイカーローン金利サービス」、「安全運転定期預金」、スーパーマーケットでのポイントサービス、ガソリンスタンド、レストラン、ホテル、遊園地、ゴルフ場、クリーニング店、自動車整備工場等自動車安全運転センターと契約している「SDカード優遇店」で割引等のサービスを受けられます。(使用日から1年以内に発行されたカードを対象)

〈お問い合わせ先〉

自動車安全運転センター山梨県事務所
南アルプス市下高砂825 電話 (055)285-2345 http://www.jsdc.or.jp/
FAX (055)285-2951

(社)山梨県建設業協会

C建設・C魅力・C創造
Construction Charming Creating

- 地域社会の活力を高めるためには、将来への良質な社会資本整備が必要です。
- 美しい山梨の自然や社会環境を守るためには、社会資本整備を抜きにしては語ることはできません。
- ゆとりある住環境と、安全・利便性に富んだ21世紀の美しい山梨の創造へ。

常に明日の山梨を見つめ、社会の原動力となって、山梨の経済を支えてきた山梨県建設業協会。私たちは皆さまとともに新しい時代の社会資本の在り方を考え、21世紀の美しい山梨の建設のためにお手伝いしてまいります。

(社)山梨県建設業協会 055-235-4421

山梨県公安委員会指定 (財)山梨県交通安全協会立

山梨自動車学校

〒400-0202 南アルプス市下高砂847

- 全車種運転免許取得OK 学生割引 短期コース
- 高齢者講習実施中
- 土日祝日も休まず営業(但し年末年始を除く)
優秀なスタッフが親切丁寧に指導します
- 送迎は相談に応じます

料金等詳細は

フリーダイヤル

0120-915-752 まで

